

# あつし塾長の 子のやる気 親の気づき

〇〇29



わが子がある日突然学校を休んでしまうことがあります。文科省の発表では、長期欠席の中学生は全体の約3%、また厚労省の発表では、ニート・フリーターは約240万人で、特にニートの同年齢人口に対する比率は2%になります。見過

## 不登校

ごせない数字です。そこで今年も「不登校フォーラムin八戸」を8月29日に開催します。今年で6年目となりますが、私は主催者でありながら、毎年パネラーとして公開討論会で発言させていただいています。不登校問題は、幼稚園児から大学生まで対象の幅が広く、お集まりくださる方々もご両親のほかに関係、学校など実際に現場で支援して

# 家族のあり方にヒント

## 解決へバランス再構築を



by yoriko

確かに不登校問題は心の問題であり進路の問題です。しかし、家族のあり方こそ解決のヒントがあると気づくことが、再構築の第一歩かもしれません。  
(畑山篤志学塾塾長)

うしても1時間はかかってしまう相談が続く、当日の相談会場ではお話を相談に来られた方々から伺います。「3人兄弟の長男で、下の子に大病が出て親がかかりつきりになって…」というご相談や「脱サラで独立し忙しくなり家庭を顧みる余裕がなかった。母親が父親の役目も担うようになった」というご相談。ほかに離婚や転居など、大人は納得できて子どもにとっては家庭のバランスが崩れると感じ、無意識のうち

に自分で均衡を保つ方に動いていることが少なくありません。「よい子」になって頑張ったり、または「悪い子」

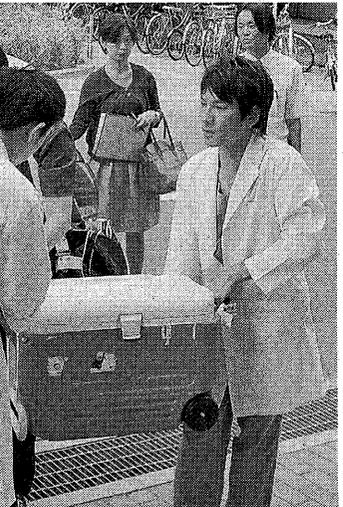
になって注意を受けたりするようです。そして、ゆとり教育で簡単にくじけてしまう子が増えていきます。確かに不登校問題は心の問題であり進路の問題です。しかし、家族のあり方こそ解決のヒントがあると気づくことが、再構築の第一歩かもしれません。  
(畑山篤志学塾塾長)

長引く不経済格差や広がっている志す大学生家庭事情が子どもたち合うかが重だ。そんな育問題を扱題材に、教や求められ質などを考東京都内で

## 教育

# ニュース なぜなに

臓器の提供はこれまで、15歳以上の人が、日ごろ持ち歩くカードに「脳死になったら臓器を提供したい」と書くなど、事前に意思を表示している場合に限られました。



の提供が認められていなかった15歳未満の子どもについても、提供への道を開きました。小さな臓器が必要な幼い患者が、外国で移植を受ける例が相次いだからです。ただし、親による暴力など「虐待」を受けた子